

# ロボット手術について

## ロボット手術とは？

胸腔鏡を使用する手術のひとつで、執刀医(外科医)が“ダビンチ”というロボットをコントロールしながら行う手術です。

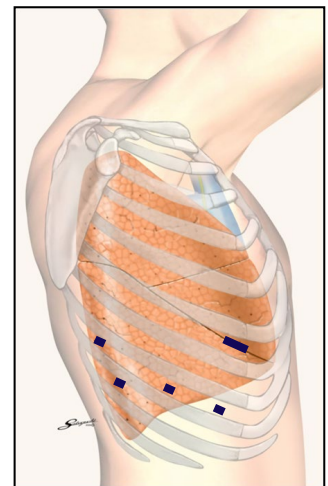


## ロボット手術の特徴

通常、体(側胸部)に 4cm 程度の穴(切除した肺を取り出す)を 1 か所、他に 1~1.5cm 程度の穴を 4 か所あけて行います。従来の胸腔鏡手術と同じくモニター画像を見ながら手術を行いますが、ロボット手術の特徴としては

- ①術野を 10 倍に拡大して 3D カメラを使用するため、術野が立体的で広く鮮明で細部の手技が正確に行える
- ②手ブレのない多関節鉗子を使用するため、人の指以上の細かな動きが可能で手術の正確性がより高くなる
- ③手術中の執刀医の負担を軽減することで手術の正確性を高める

などがあります。



ロボット手術

## ロボット手術のメリット

これらにより期待されている利点として、

- ①傷口が小さく、肋間の損傷が少なく疼痛も少ない
  - ②精緻な動きにより止血も効果的にできるため出血が少ない
  - ③回復が早く早期社会復帰が期待できる
  - ④血管の剥離やリンパ節の切除など緻密で正確な操作ができることにより術後合併症のリスクが低くなる
- などがあります。

しかしながらロボット手術に限らずすべての手術にはリスクが伴うため、事前に十分に外科医の説明をうけてご理解いただいたうえで手術を受けていただく必要があります。